

江別市議会議員

岡英彦の 議員活動レポート

無所属

16年間ずっと、政党に
所属せず活動しています。



4年間の実績

1.4 倍増加

保育園定員数

6.5 %増加

働く女性の数

1.9 億円増加

市民税

2.9 %減少

経済的に就学が
困難な児童生徒

保育サービスの拡充は、子どもの健全な心身の発達をサポートすることに加え、労働生産性の向上、財政の健全化、子どもの貧困の減少に繋がるとされています。

岡は、この4年間で、総合的な政策効果の観点から、保育サービス拡充について提案を行ってきました。

出典 江別市決算書、江別市事務事業評価表（待機児童解消対策事業・教育扶助）、国勢調査（女性労働力率）

行政の誤りをチェック！33年ぶりに予算修正案を提出

2021年3月の議会で、病院事業会計予算の修正案を猪股議員・鈴木議員と共に提出し、岡が提案理由の説明と質疑応答を行いました。江別市議会では予算の修正案が提出されたのは1988年以来33年ぶりとなりました。

修正案は可決されませんでしたが、次年度の予算で、修正案で指摘した会計上の誤りは直されており、我々の提案が正しかったことが暗に示されました。



最大会派結成！ 大雪への災害対応を要請

2021年4月に議員6名から成る会派「えべつ地域創生の会」を結成しました。国政政党と直接の関わりのない無所属の議員が中心となる会派が、議会内の最大会派となっていることは、女性議員比率全国1位とあわせて、江別市議会の特徴と言えます。

2022年1月の大雪に際しては、会派として、副市長・建設部長・土木事務所長・雪対策課長と協議の場を設けました。災害に準じた全庁的な対応の必要性を訴え、2月に災害対策本部会議が設置されることとなりました。



次世代の若者を応援

NPO 法人ドットジェイピーが行っている議員インターンシッププログラムから、夏休みと春休みの間に学生さんを受け入れています。実際の議員の活動を見て頂くことはもちろんですが、様々なイベントに参加し、地域のいろいろな人と出会うことで、若者が成長するための「気づき」のきっかけを提供したいという思いで行っています。



プロフィール

1972年生まれ。

11歳まで江別市大麻栄町に暮らし、あけぼの幼稚園、大麻泉小学校に通いました。毎日のように吉井の沢で遊んでいました。

札幌南高校卒業（41期）

茨城大学理学部物理学科卒業、茨城大学大学院理工学研究科修了（理学修士、天文学）

天文学者になることを目指して勉強し、科学的な考え方を鍛えられました。大学院修了後、東京のIT企業に就職しシステムエンジニアとして約9年間働きました。毎日タクシー帰りの忙しい職場で、社会人としてのスキルを叩き込まれました。

2006年、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科修了（公共政策学修士、地方自治・公共経営）

地盤・看板・カバンなしで活躍している市町村議員に初めて出会い、江別にUターンし政治家を志すきっかけとなりました。

2007年、34歳で江別市議会議員に初当選

2013-2014年、全国若手市議会議員の会・第18代会長

2015年、江別市長選挙にて次点

2019年、江別市議会議員選挙にて3期目当選

資格 江別まち検定上級・国会議員政策担当秘書・

英検1級

編集・発行 岡英彦と考える会

T069-0811 江別市錦町 2-3-102

電話：011-384-2705

FAX：011-378-9630

メール：info@ebet.jp

HP：www.ebet.jp

Facebook：@oka.hidehiko

